

科目名	骨折実技（下肢１）							年度	2025	
英語科目名	Bone fracture practical skill (Lower limbs 1)							学期	前期	
学科・学年	柔道整復科　２年次		必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	秋田雄大、有山敦士		教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務あり）		
【科目の目的】										
下肢の骨折について概説、発生機序、症状、治療法について学び、徒手整復や固定法の実技を行う。										
【科目の概要】										
部位別に具体的な外傷の整復・固定・後療法等や治療に至るまでの注意事項を学びます。										
【到達目標】										
柔道整復施術の観点から下肢の骨折に対して、部位別に具体的な外傷の発生機序、症状（一般外傷症状・固有症状）、病態や整復・固定・後療法などの施術の判断や方法に至るまでの注意事項を学ぶ。あわせて骨損傷を学ぶ上で必要な機能解剖学から骨折による骨片の転位、整復、固定を考える能力を付けることを到達目標とする。										
【授業の注意点】										
実技の要素が高く卒業後は患者の体を扱うため、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するとともに授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル２ あと少し	レベル１ 要努力					
到達目標 A	下肢の骨折の概説について大変良く理解している	下肢の骨折の概説について良く理解している	下肢の骨折の概説についてだいたい理解している	下肢の骨折の概説についてあまり理解していない	下肢の骨折の概説について全く理解していない					
到達目標 B	下肢の骨折の発生機序について大変良く理解している	下肢の骨折の発生機序について良く理解している	下肢の骨折の発生機序についてだいたい理解している	下肢の骨折の発生機序についてあまり理解していない	下肢の骨折の発生機序について全く理解していない					
到達目標 C	下肢の骨折の症状について大変良く理解している	下肢の骨折の症状について良く理解している	下肢の骨折の症状についてだいたい理解している	下肢の骨折の症状についてあまり理解していない	下肢の骨折の症状について全く理解していない					
到達目標 D	下肢の骨折の徒手整復や固定について大変良く理解している	下肢の骨折の徒手整復や固定について良く理解している	下肢の骨折の徒手整復や固定についてだいたい理解している	下肢の骨折の徒手整復や固定についてあまり理解していない	下肢の骨折の徒手整復や固定について全く理解していない					
到達目標 E	下肢の骨折の合併症や後遺症について大変良く理解している	下肢の骨折の合併症や後遺症について良く理解している	下肢の骨折の合併症や後遺症についてだいたい理解している	下肢の骨折の合併症や後遺症についてあまり理解していない	下肢の骨折の合併症や後遺症について全く理解していない					
【教科書】										
教科書（柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会監修-）に準拠する。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験と課題を総合的に評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

